

「この街」のために。「あなた」のために。

2017年9月号（月刊）発行：社会医療法人 壮幸会 行田総合病院



VOL 034

整形外科の新体制

Close-up 整形外科病棟看護師

Close-up リハビリテーション科・作業療法士

News&Topics

9月

社会医療法人 壮幸会

行田総合病院

TEL : 048-552-1111



整形外科 の新体制

整形外科部長／医師・勝又信一

はじめに

当院の整形外科は、人工関節手術や関節リウマチ、骨軟部腫瘍の治療を中心に「手足のしびれ・痛み・腰痛・肩こり・捻挫・打撲・骨折などの一般的な整形外科疾患まで幅広く対応しています。

本年4月から山崎医師、8月から高田医師を迎え、常勤医師4名・非常勤医師4名で治療を行っています。骨軟部腫瘍並びに骨粗鬆症の専門外来は小島副院長が、リウマチ並びに人工関節についての専門外来は勝又が担当し、電話予約制になっています。

リウマチ専門外来

関節リウマチに対し、生物学的製剤を積極的に使用し、早期寛解導入、維持を行っています。

人工関節専門外来

10年以上、低侵襲手術を主要テーマに運営を継続した結果、年間約50症例（膝、股関節を合わせる。大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術を除く）の実績を数えるようになりました。

最近、膝関節については、大腿四頭筋、靱帯に侵襲を加えない、単顆型人工関節を積極的にを行い、より大きな術後膝屈曲を実現しています。また、股関節はこれまで通り、前側方筋間アプローチを行い、早期回復、脱臼リスクの低減に努めています。

人工関節手術

一度擦り減った軟骨や骨は元には戻りません。人工関節は、擦り減った膝の軟骨や変形した股関節

超音波検査、細胞診、針生検によって良性か悪性かを診断。その後当院での手術治療を行うほか、化学療法や放射線治療が必要な場合には、専門治療が可能な病院へ紹介を行っています。

ロコモティブシンドロームへの取組

ロコモティブシンドロームとは、人間の運動機能をつかさどる骨・筋肉・神経・関節などに障害を受けて、歩くこと・立つことに影響が出ている状態のことをいいます。

運動機能の障害となる原因として「骨粗鬆症」「変形性関節症」「変形性脊椎症」などがあります。日常生活動作で関節や脊椎などに負担がかかって発症しますが、予防や発症を遅らせることも可能です。日本整形外科学会より「7つのロコチェック」「ロコトレーニング」など、簡単にチェック・予防方法が分かるものが作られています。

日常生活で気をつけるポイントは「痩せすぎ・太りすぎ」「痛みの放置」「運動のしすぎ」「薬をしない」などがあります。痩せすぎると筋肉や骨が弱くなり、太りすぎると関節にかかる負担が増します。ちょっとした痛みを放置することで少しずつ運動機能が低下します。こうしたことにより骨折しやすくなったり、歩きにくくなったりします。日頃から気をつけることによって、未来の生活が大きく変わってくることでしょつ。

当院では毎週木曜の午前に骨粗鬆症外来を開設しております。骨の密度や新しい骨を作るサイクルが活発かを計測し、それに基づいてお薬または運動による個々のライフスタイルにあった治療をおすすめています。

節の代わりとなり、チタン合金やセラムミックなど、アレルギーを起こしにくい材質でできています。

対象となる部位は、膝・肘・股・肩関節の4カ所。このうち、当院では股関節と膝関節を中心に手術を行っています。手術は約2時間。術後にはリハビリセラピストとともに積極的な動作訓練を行います。これまでに手術を受けた患者さまからは「手術をしたら痛みがとれました」「痛みが無くなるのがこんなに楽だったとは！」「スムーズに歩ける姿を見てください！」といった感想をいただいております。長く悩んでいた痛みやそれに伴う心理的負担から解放された患者さまが数多くいらっしゃいます。今後もお一人お一人に合った治療を考えていきます。

骨・軟部腫瘍の治療

骨・軟部腫瘍とは、主に骨や軟部（筋肉・脂肪）などに発生する腫瘍です。腫瘍には良性と悪性があり、整形外科で扱う悪性腫瘍は「がん」とは呼ばずに「肉腫」と呼ばれています。腫れや違和感を感じたり、しこりに気がつく程度のわずかな症状のため、概ね放置しがちになります。

良性腫瘍の場合、安易に切除すると再発しやすくなることもあります。「痛みや機能障害がある場合」「切除希望がある場合」「骨折を起こしそうな場合」については手術を行います。骨・軟部腫瘍は、約9割以上が良性腫瘍です。少ない割合の悪性腫瘍を見つめるためには、的確で専門性の高い診断が必要となります。

診断はレントゲンを基本とし、必要に応じて腫瘍マーカー（血液検査）、CT、MRIの検査を行い、

整形外科の新体制

少子高齢化社会となり、今後ますます脊椎や膝・股関節などの変形性関節症や骨粗鬆症など加齢に伴う病気が診断される方が多くなることでしょつ。

当院整形外科では、引き続き「リウマチ・膝・股関節」「骨・軟部腫瘍」の2つを柱に、「ロコモティブシンドローム」への取り組みを強化し、地域の方々の方々の安心した生活を守ることを使命として尽力してまいります。常勤医師4名となり、これまで以上に骨折や外傷などの救急患者さまの受け入れや紹介患者さまを積極的に受け入れ、病診連携にも力を入れて取り組んでいきます。



心のサポートも含めた リハビリテーションを 提供できるように。

行田総合病院
リハビリテーション科・作業療法士
相澤菜摘
2015年入職



整形外科病棟では、主に大腿骨頸部骨折や腰部圧迫骨折、上肢の骨折等で入院された患者さまに対してリハビリテーションを行っています。

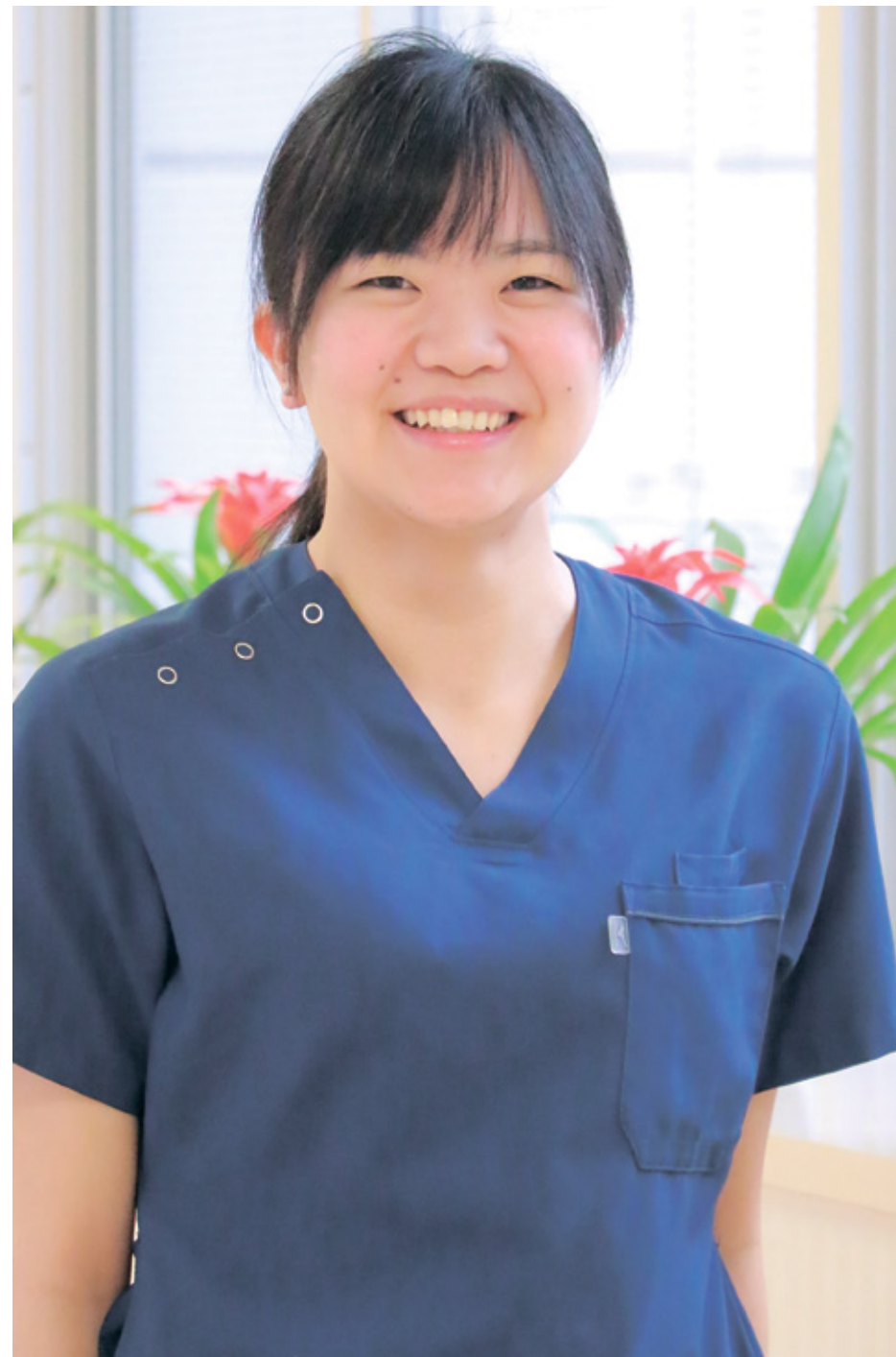
手術が必要な場合や装具（コルセット等）が完成するまでの間は、床上安静が必要となるため、筋肉の衰えを予防する目的でベッドの上で運動を行います。認知機能に関しても低下することのないように日付や食事内容の確認などを行い、早期からの離床を円滑に進められるように介入しています。退院するためには移動できる手段（歩くこと・車椅子など）と共に、日常生活動作の獲得も必要となります。

作業療法士の業務は、病棟スタッフと連携しながら食事やトイレなどの日常生活動作の獲得を目標に掲げてのリハビリテーションです。骨折後は痛みを訴える患者さまが多いのですが、みなさんご自身でトイレに行くことを望みます。実際にトイレに行って立ち座りやズボンの上げ下げなどができるようになるまで練習を行います。

整形外科急性期チームに所属し、これまで触れることの少なかった疾患を担当することが増えました。今後は整形外科の知識をさらに深めて、痛みが強い状態である患者さまの心のサポートも含めたリハビリテーションを実施できるセラピストを目指したいと考えています。

病棟リーダーと プリセプターを兼務。 日々奮闘してますっ！

行田総合病院
整形外科病棟看護師
荒谷真紀子
2013年4月入職



新卒でこの病院に就職して、今年で5年目になります。看護師になる前は、整形外科には若い男性ばかりが入院していると思っていましたが、実際には幅広い年齢の方が入院されています。入院期間も様々で、例えば腕の骨折や、手術をした時のボルトやプレートを抜くだけの人は、1泊2日くらいで退院できます。足の骨折などで手術をした人は、入院がやや長めになります。車椅子での生活になってしまった場合などは、当院のリハビリ専門病棟に転棟したり、ソーシャルワーカーと話し合って介護保険施設をお勧めしています。脊椎の圧迫骨折の人は入院1週間後くらいにコルセットが完成しますので、装着してから車椅子や歩く練習を行います。早期離床が基本なので、動ける人は手術の翌日から歩くなどのリハビリを始めてもらいます。

今年から病棟リーダーとプリセプターを兼務しています。新人看護師と共に全入院患者さまの情報を把握しなければなりません。『退院後にどういった支援を受けることができるのか？』など、考える・覚えることが多く、日々奮闘しています。新人には、曖昧な指導をしないように心がけています。一つ一つの業務に対して、『なぜ必要なのか？』きちんと根拠を考えながら、時間内に終わらせられるように指導をしています。

患者さまに対しては、廊下に出でずれ違った時には、受け持ちでなくても世間話をしたり情報収集をしたり、アセスメントという目的もありますが自分から話かけることを大切にしています。

NEWS & TOPICS

2017.7-2017.8

再就職技術講習会を実施 活かそう！ナースの資格



2017年8月1日(火)～3日(木)

埼玉県看護協会主催による講習会が当院で行われました。

今休職中の看護師さんに最近の看護や知識・技術を体験し、再就職のステップにしてもらうための講習会が6月からスタート。8月は当院が開催施設となり、通勤圏内にお住いの看護師さんが参加されました。看護部教育委員会から副部長と医療安全管理者・感染管理者が出席し、1日目は講習、2～3日目は技術指導・実習が行われました。参加者からは「学習になった」「再就職を考えたい」「不安が無くなった」などの声をいただきました。
▶今後のスケジュールは『埼玉県ナースセンター』TEL.048-620-7337 へ。

肝臓を鍛える5つの方法 第4回肝臓病教室

■ ■ Gyoda General Hospital Proudly Presents 参加費無料・どなたでも参加できます！ 第4回 肝臓病教室

肝臓を鍛える5つの方法

ウイルスを叩いて肝臓を鍛える！ アルコールで肝臓は鍛えられる？ 肝機能は正常？鍛える必要はない？ 肝臓に良い食事・悪い食事 筋肉を鍛えて肝臓を鍛える

平成29年10月6日(金)
夕方5時30分～ 新南棟1階
お問合せ：行田総合病院 地域医療連携室 TEL.048-564-2537

2017年10月6日(金)に開催！

新南棟1Fにて！

4回目を迎える肝臓病教室。今回は「肝臓を鍛える5つの方法」と題し、ウイルスを叩いて肝臓を鍛える！、アルコールで肝臓は鍛えられる？ など盛りだくさんの内容でお待ちしております。

院内コンサート開催 どなたでもお気軽にご参加ください



2017年9月13日(水)に開催！

行田市民吹奏楽団から

6名のプレーヤーにお越しいただき、素敵な曲が楽しめるひとときを演出します。詳細は院内掲示板と当院のホームページで。
●18:00～19:00。新南棟1F受付前フロアにて。
●<http://gyoda-wind.com>

病院見学会を開催 リハビリテーション科主催での初開催！



2017年7月29日(土)、8月12日(土)、9月2日(土)ほか

3日間の開催でリハビリ・セラピストを目指す若者が多数参加！

リハビリテーション科が主催する初の病院見学会が開催されました。この日(7月29日)は、埼玉と群馬県内の大学・専門学校から10名(理学療法士6名、作業療法士2名、言語聴覚士2名)の若者が参加。新井室長が病院の概要、リハビリテーション科の理念・目標、新人教育制度の説明を行い、その後リハビリテーションセンターや院内の見学を実施。質疑応答には各チームのリーダーも参加し質問に対して丁寧に説明を行いました。

INTRODUCTION

新入職医師のご紹介

整形外科 高田医師から地域の皆さまへ



整形外科医師
高田秀和
HIDEKAZU TAKADA

帝京大学医学部 平成22年卒

専門科目：整形外科

得意分野：脊椎疾患、一般外傷

●PROFILE

平成22年 青森労災病院 初期研修

平成24年 青森労災病院 整形外科 医員

平成27年 青森労災病院 整形外科 医長

平成28年 葛西昌医会病院

平成28年 谷津保健病院

平成29年8月1日から行田総合病院の整形外科に勤務することになりました、高田秀和と申します。青森県八戸市にある青森労災病院に7年間勤務し、東京都内、千葉県内の病院にて研鑽を積んで参りました。

それぞれの病院では、一般外傷と脊椎手術を担当しておりました。この度、ご縁があり当院整形外科にて診療することとなりました。

患者さまにわかりやすい説明と丁寧な治療を心がけていきたいと思います。

趣味はトレーニング、映画鑑賞、お笑いライブ観戦など。空手では全日本大会に出場し、長年指導員を務めていました。

若輩者ではありますが、宜しくお願い申し上げます。

ADVERTISING

院内・院外からの広告を受付けております。

●泌尿器科外来からのお知らせ

尿失禁に関してお悩みの方へ。



「おしっこが出にくい」「回数が多し」「漏れる」などなど…。

尿失禁に関してお悩みを抱えてる方は、ぜひ当院の排尿機能外来を受診してください。

埼玉医科大学病院泌尿器科の朝倉博孝教授による専門外来です。

●毎月第2・第4水曜日の午後に診察を行っています。

▶いつでもお気軽にご相談ください。

[行田総合病院 泌尿器科外来]

●看護担当課からのお知らせ

看護スタッフ専用の相談窓口「サポートセンター」をどうぞご利用ください。



看護スタッフの皆さんがより気軽に相談へお越しいただけるよう新西棟4階に「サポートセンター」を設置し、看護担当課のスタッフが幅広い相談に対応しています。

終日オープンしているため、夜勤明けや終業後など、既にご利用されているスタッフの方もいらっしゃいます。どうぞお気軽にご利用ください。お待ちしております！

[サポートセンター開設の経緯]

現看護担当課は、スタッフの募集活動をメインに看護師採用課として活動しておりました。今年度よりスタッフのサポートにも力を入れるため、部署名を看護担当課に改め、皆さんの立ち寄りやすい新西棟4階にサポートセンターを開設することになりました。

[行田総合病院看護担当課]

●新人看護師がんばってますっ！③

点滴業務・静脈留置針穿刺、輸血・シリンジポンプの使い方研修

点滴薬の種類によっては、微量の輸液を正確に落とす必要があります。そういう時は、輸液ポンプやシリンジポンプと呼ばれる機械を使用します。7月から約2週間かけて注射・点滴の研修に参加してきましたが、今回はそれらの機械と腕部模型を使ってのまとめ研修です。模型には疑似血流があり、針の刺し方、点滴の固定の仕方やテープの貼りを学びました。患者さまに実施する際も『焦らず、でも緊張感を持って臨んでいかなければならない』と、強く感じました。

▶今後の予定：次号では看護師病棟業務についてレポートします。

[行田総合病院看護担当課]

